

帝キネ現代映畫

原作監督者 高木英雄
撮影者 谷口 禎

主要役割

菊地健太郎 小島 洋々
その妻英子 鈴木 信子
貧しき女お道 歌川八重子
その子お千恵 杉村チエ子
英子兄順一郎 藤 間 林 太郎
不良少年市松 嵐 徳 太郎
不良少年市松

〔略筋省略〕

「惠の郷」云ふ家を作つて育児教育に努力してゐる一理想家の苦闘を描いてゐる。作者はイデオロギイと同時に其れ以上の涙腺の刺戟を盛らふさした。それが時には不自然な片鱗を見せる結果に陥つてゐる。が監督は若い人が誰でもが通る一過程を経たに過ぎないのだ。考へてゐた手法と作意との全部を現はしてゐる感がある。併し渾身の努力と眞實さが見えてゐる。共に手練れない生硬さがあつた。エキストラらしい少年はよく使ひこなされてゐた。嵐徳太郎君の不良少年や松葉笑子君の不良少女は仲々自然な旨さを見せた。主人公健太郎を演つた小島洋々君は餘り表情に無理と誇張が感じられた。「金剛石」の歌を子供達に唄はせ、主人公は去つた妻を思ひ、貧しい女お道(歌川八重子)は涙ぐむシーンには實に快いファンタジーだつた。唯此の一篇であんなに何遍も田を耕す所や、初期の文學者の創作を讀む様な、讀みづらく冗漫な字幕さへ除いたら、もつと良いものになつたに相違ない。此の作品は監督であり作者である高木君が映畫に手練れない最初のものであつた爲かと思ふ。水町 青磁——
興行價値 呼物にはならない。相當にまごまつたもの。教育團體では此の種のもの一般よりも歓迎するだらう。都會の一流館の副物にいい。(五月廿九日 大阪声戸劇場、神戸相生座封切)